

「平成27年度 ふるさと寄附金活用事業概要と実績」

名称	決算額（一般財源分） （千円）	事業概要	事業実績
あきた発！英語コミュニケーション能力育成事業 （高校教育課）	7,877	世界に通用する英語コミュニケーション能力を育成するために、「小・中・高一貫した授業改善」、「教員の授業力向上」、「英語を学ぶ環境整備」を三つの柱とした12の事業からなる「あきた発！英語コミュニケーション能力育成事業」を展開しています。	事業の実施により、小学校外国語活動の指導、中・高の英語指導の質を高めることができました。また、「英語を学ぶ環境整備」では、国際感覚の醸成と体験活動による英語コミュニケーション能力の育成を目的として、「あきたっ子！グローバルびじょん」、「海外派遣研修」、「高校生留学支援」、「イングリッシュキャンプ」等の事業を実施しました。イングリッシュキャンプとは小・中・高校生を対象にした英語合宿のことで、年間で、17回行い、ALTの自国文化紹介、海外の学生との交流、英語劇（小）、動画のアフレコ（中）、即興劇（高）などの活動を通じて、参加した児童生徒は英語力の伸長を図るとともに、英語学習に対する意欲を向上することができました。
子育てしやすい職場づくり推進事業 （人口問題対策課）	6,580	企業経営者等に対する意識啓発や専門アドバイザー（社会保険労務士）の派遣、両立支援の取組の実践に対する助成などの支援を行うとともに、一般事業主行動計画策定の取組を推進し、男女ともに子育てしながら働き続けることができる職場環境づくりに向けた企業の取組の一層の促進を図ります。	専門アドバイザーを企業に派遣し、従業員100人以下の企業における一般事業主行動計画の策定支援や目標達成のための助言を行いました。平成27年度の県内の計画策定件数は77件、累計で724件となりました。
白神山地利活用推進事業 （自然保護課）	3,509	世界自然遺産に指定されている白神山地を、将来にわたって守り伝えるとともに、適切に利活用して県内外の方々にその魅力と価値を伝える取組を行います。	白神山地の素晴らしさを伝える役割を担っている「白神ガイド」の技術向上を図るため、レベルアップ講習会を年4回開催しました。 また、新しい散策ルートの開設に向けた検討等を進めるとともに、国や地元自治体等と連携して、遺産地域のパトロールや登山道の整備を行ったほか、世界遺産センター藤里館の運営を通じて、登山等の情報の案内やトレッキングツアーを実施しました。
世界遺産 —縄文ルネサンス—事業 （生涯学習課文化財保護室）	8,127	北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組に要する経費です。	縄文遺跡群のユネスコ世界文化遺産登録に向けて、国内専門家委員会や国際会議を開催したほか、4道県及び14市町で会議を開催して3月末には文化庁に推薦書案を提出しました。 また、県内機運の醸成のため、縄文遺産パスポートを作成してシールラリーを行うなどの普及啓発事業を行いました。

名称	決算額（一般財源分） （千円）	事業概要	事業実績
第2期あきた元気ムラづくり 総合推進事業 （地域活力創造課活力ある集 落づくり支援室）	19,063	住民の生活を守る身近な組織である集落や町内会などの自治会の機能が、人口減少や高齢化等で低下してきている地域があります。そこで、住民が地域課題の解決に向け、自話し合いや実践活動を重ねながら地域の将来づくりに取り組んでいる自治会（元気ムラ）を市町村と連携して支援しています。	地域の課題を見つめ直し、対話や実践を重ね組織の力を高める取組を支援した結果、元気ムラとして登録される地域が昨年度より7地域増加し、72地域となり、その活動を「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト」を通じて情報発信しました。（「元気ムラ」で検索できます。） 県内の12地域の元気ムラでは、ネットワークを組み、全員参加で自治会の収益活動として、山菜、きのこ等を首都圏のスーパーへ出荷するGB（じっちゃん・ばっちゃん）ビジネスを実施しました。
老人福祉施設等環境整備事業 （長寿社会課）	11,750	在宅生活が困難な高齢者の身体的、精神的な健康の維持及び向上を図るため、特別養護老人ホーム等高齢者の心身機能の状態に応じた各種施設を整備する社会福祉法人等の事業主体に対して、整備費用の一部を助成します。	特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人に対して建築費用の一部を助成しました。
観光施設魅力向上推進事業 （観光戦略課）	110,950	利用者の安全安心の確保と満足度の向上等を図るため、県が所有する観光施設の改修等を行っています。	支障が生じていた男鹿水族館のウッドデッキや田沢湖スキー場のリフト等を改修し、利用者の安全安心の確保と満足度の向上等に努めました。 主な観光施設の利用者数 男鹿水族館：228,241人 田沢湖スキー場：86,441人
先導的技術等開発支援事業 （地域産業振興課）	36,935	本県の産業構造が抱えている課題（下請依存、低い付加価値生産性）の解決に資するため、今後、成長が見込まれる産業分野の技術・製品等の開発・事業化に先導的に取り組む県内企業を支援します。 また、こうした技術・製品等の開発を担う主体の創出・育成を図るため、県内企業、大学、公設試等で構成するコンソーシアムの形成とこれらの活動を推進します。	高付加価値製品の開発にコンソーシアムを形成して取り組むIoT、農工連携、医工連携の各分野の案件（3件）に対し補助を行い、製品開発を支援しました。 また、コンソーシアムの活動支援として、LED機器研究会（3回）、エネルギーハーベスティング研究会（5回）、次世代農業機器研究会（2回）の各活動を支援したほか、コンソーシアムの芽の創出として2件の講師派遣を実施しました。 一方、具体的な個別企業の技術相談に応ずる体制として、技術統括アドバイザー1名、技術コーディネーター4名を配置し、415件の相談・対応を行いました。
障害者市町村地域生活支援事業 （障害福祉課）	158,295	障害のある方が、住み慣れた地域で人格と個性を尊重した暮らしができる地域社会の実現を目的とした事業を実施する市町村に対し、その事業費の一部を補助しています。事業の内容は「日常生活を補助するための用具の給付」「手話通訳者等の派遣」など多岐にわたりますが、各市町村は地域の特性や利用者の状況などに応じ、柔軟な事業形態による事業を計画的に実施することとしています。	各市町村が地域の実情に合わせた事業を実施しており、特に「日常生活を補助するための用具の給付」については全市町村が、「手話通訳者等の派遣」については、20市町村が実施しています。なお、各市町村が実施している事業については市町村のウェブサイト等で確認することができます。

名称	決算額（一般財源分） （千円）	事業概要	事業実績
アート・音楽による地域の特色づくり推進事業 （文化振興課）	25,807	足もとの文化資源を磨き活かすことで、特色ある地域づくりに貢献し、文化資源を観光資源として活用することで交流人口を拡大するなど、地域の活性化を図ります。	アートや音楽による地域の特色づくりを図るため、「KAMIKOANIプロジェクト秋田」や「アキタ・ミュージックフェスティバル」、「舞踊舞踏フェスティバル開催事業」、「ミュージカル政吉とフジタ」など、文化で街に賑わいをもたらす取組を推進しました。
2020プロジェクト推進事業 （スポーツ振興課）	16,573	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を契機に、海外チームの事前合宿誘致、交流合宿を実施します。 トップスポーツ大会等に支援を行い、県内のスポーツ競技者に国内のトップレベルの技術等を観て感じてもらい、県内の競技力向上に努めます。	タイ政府、同国バドミントン協会と相互交流の協定締結により、県内の高校生がタイ国で交流合宿を実施しました。 トップスポーツ大会では、全日本実業団柔道大会、バドミントン日本リーグ、バスケットボールWリーグのセミファイナル等に支援し、県内の競技者や指導者スポーツ愛好者等に高いレベルの競技会を観てもらい、競技力向上等につながる支援を実施しました。
監査委員活動費 （監査委員事務局）	1,258	県の各機関における財務に関する事務の執行や、県が補助金を交付し、または出資している団体等に係る事業の監査などを実施する経費です。	監査を実施する経費の一部として活用しました。